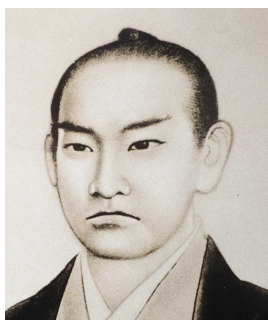


まなびや

橋本左内の『啓発録』に学ぶ

立志式



橋本左内(明道館学監心得)

啓発録

- 一 稚心を去る
- 一 気を振る
- 一 志を立てる
- 一 学に勉める
- 一 交友を択ぶ

(左内公園碑文より)

橋本左内は、藩医の子として生まれ、15歳で「啓発録」をあらわしています。16歳で緒方洪庵の適塾(大阪)で医学と蘭学を学びました。やが

て松平春嶽に見いだされ、側近として活躍し、西郷隆盛ら諸藩の有志と親交を結びました。嘉永元(一八四八)年、左内は自分の言動を戒めるために、15歳(満14歳)にして「啓発録」をあらわしました。「稚心を去る」「気を振る」「志を立てる」「学に勉める」「交友を択ぶ」の五項目を、以後の人生の指針として学問に励もうとする強い意志が記されています。



県内多くの中学校では、福井藩士橋本左内が数え年15歳で人生の目標として「啓発録」を著したことになんで、最

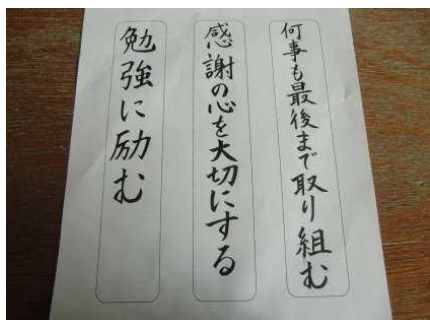
高学年を前にした2年生が「立志式」を実施しています。

立志式は、3年生になり進路を具体的に決めていく前に、まず自分を見つめ直すことを目的にしています。自分がどういう生き方をしたいかという、人生の大きな目標を考えるきっかけとして、意義のある取り組みだと思えます。

生徒たちは、立志式の事前学習で、「啓発録」などから左内の生き方や考え方などを学び、一人一人が「自分の啓発録」を書いています。併せて、学年全体を高めていくために学年の目標なども定め、残り一年となった中学校生活や今後の人生をどのように過ごしていくか誓いを立てています。

立志式当日には、橋本左内についての調査研究や「私の啓発録」、「学年の目標」等の発表の他、「学年合唱」で心を一つに団結の誓いを具現化しています。式には保護者や地域の方も参加するなど、厳粛に行われています。

▼展示室Eには、学校行事の取り組み映像があり、立志式も紹介されています。



15歳の決意



私たちの五訓唱和



啓発録の碑(福井市左内公園)



クラスで目標発表



私の啓発録掲示



私の啓発録発表